

【2015年3月期第2四半期（中間）決算記者会見資料】

①契約の状況等

		2014年9月期			14年3月期	13年9月期
			14/3期比	13/9期比		
新契約年換算保険料	(百万円)	12,186	—	30.4%増	19,908	9,348
うち第三分野	(百万円)	1	—	204.4%増	1	0
保有契約年換算保険料	(百万円)	123,990	8.9%減	21.0%減	136,147	156,856
うち第三分野	(百万円)	3,232	4.7%減	9.6%減	3,390	3,573
保険料等収入	(百万円)	140,495	—	23.8%増	239,777	113,509
うち個人保険分野	(百万円)	140,324	—	23.9%増	239,274	113,287
うち団体保険分野	(百万円)	78	—	11.0%減	169	88
新契約高	(百万円)	148,336	—	28.0%増	244,969	115,889
保有契約高	(百万円)	1,807,246	2.2%減	7.8%減	1,848,515	1,961,102
解約・失効高	(百万円)	53,799	—	42.5%減	174,654	93,606
解約・失効率	(%)	2.91	—	1.68ポイント低下	8.56	4.59

※保険料等収入以外は個人保険＋個人年金保険であります。

※14/3期比、13/9期比は増減率（解約・失効率は増減ポイント）であります。

※年換算保険料の対象は個人保険と個人年金保険であります。年換算保険料とは、1回あたりの保険料について保険料の支払方法に応じた係数を乗じ、1年あたりの保険料に換算した金額等であります（一時払契約等は、保険料を保険期間で除した金額）。

※保険料等収入は損益計算書ベースであります。

※保険料等収入のうち個人保険分野は個人保険＋個人年金保険、団体保険分野は団体保険＋団体年金保険の合計保険料であります。

※解約・失効は、失効後復活契約を失効と相殺せずに算出（2014年9月期、13年9月期の解約・失効率は年換算前）しております。

②資産の状況等

		2014年9月末			14年3月末	13年9月末
			14/3末比	13/9末比		
総資産	(百万円)	1,370,201	1.7%減	7.6%減	1,393,592	1,482,376
実質純資産額	(百万円)	135,087	8.1%増	8.7%増	124,925	124,270
実質純資産額／一般勘定資産	(%)	13.3	0.8ポイント低下	2.9ポイント低下	14.1	16.2
ソルベンシー・マージン比率	(%)	1,183.8	132.6ポイント上昇	297.7ポイント上昇	1,051.2	886.1

※14/3末比、13/9末比は増減率（実質純資産額／一般勘定資産及びソルベンシー・マージン比率は増減ポイント）であります。

③基礎利益・逆ざや

		2014年9月期			14年3月期	13年9月期
			14/3期比	13/9期比		
基礎利益	(百万円)	4,244	—	80.9%減	26,971	22,215

※13/9期比は増減率であります。

		2015年3月末の予想	2014年3月末の実額
逆ざや額（正值の場合は順ざや額）	(百万円)	△ 3,000	△ 2,812

④準備金

		2014年9月末			14年3月末	13年9月末
			14/3末比	13/9末比		
責任準備金（除く危険準備金）	(百万円)	1,252,570	23,637減	112,129減	1,276,208	1,364,700
うち一般勘定（除く危険準備金）	(百万円)	897,668	127,031増	248,054増	770,636	649,613
うち特別勘定（除く危険準備金）	(百万円)	354,902	150,669減	360,184減	505,571	715,086
価格変動準備金	(百万円)	635	60増	121増	574	513
危険準備金	(百万円)	32,611	7,189減	14,689減	39,800	47,301
うち危険準備金Ⅰ	(百万円)	4,592	1,537減	3,670減	6,130	8,262
うち危険準備金Ⅱ	(百万円)	5,653	3,781増	5,376増	1,872	276
うち危険準備金Ⅲ	(百万円)	22,133	9,415減	16,362減	31,549	38,496
うち危険準備金Ⅳ	(百万円)	231	17減	33減	249	265
危険準備積立金	(百万円)	—	—	—	—	—
価格変動積立金	(百万円)	—	—	—	—	—

※14/3末比、13/9末比は増減実額であります。

⑤含み損益

		2014年9月末			14年3月末	13年9月末
			14/3末比	13/9末比		
有価証券	(百万円)	36,365	10,729増	13,898増	25,635	22,466
うち国内株式	(百万円)	—	—	—	—	—
うち国内債券	(百万円)	31,564	6,966増	9,524増	24,597	22,039
うち外国証券	(百万円)	—	—	—	—	—
うち金銭の信託	(百万円)	4,800	3,762増	4,374増	1,038	426
不動産	(百万円)	—	—	—	—	—

※14/3末比、13/9末比は増減実額であります。

⑥運用実績と計画

		上期実績	下期計画
国内株式	(百万円)	4減	市場金利の変動に対して資産と負債のキャッシュ・フローの中立化のために最適なポートフォリオを保険商品の特性ごとにあらかじめ定め、運用してまいります。具体的には、確定利付資産によるキャッシュ・フロー・マッチを主体とした運用を行ってまいります。
国内債券	(百万円)	125,994増	
外国株式等	(百万円)	—	
外国債券	(百万円)	—	
不動産	(百万円)	—	

※上期実績は資金異動ベースでの増減額を記載しております。

※国内債券は、金銭の信託の設定・解約に伴う資金異動額を含めております。

※不動産は、建物付属設備を除いております。

⑦資産の含み損益がゼロになる水準

		2014年9月末時点
国内株式（日経平均）	(円)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内株式（TOPIX）	(ポイント)	上場株式を保有していないため算出しておりません。
国内債券	(%)	0.9程度
外国証券	(円)	外国証券を保有していないため算出しておりません。

※国内債券は新発10年国債利回り換算し、小数点第1位まで算出しております。

⑧2015年3月期の業績見通し

		2015年3月期の予想
保険料等収入	(百万円)	350,000
基礎利益	(百万円)	4,000
保有契約高	(百万円)	1,850,000
保有契約年換算保険料	(百万円)	120,000

⑨銀行との資本持ち合いについて

i 銀行からの拠出(総額)

		2014年9月末
基金(株式)に対する拠出	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

ii 銀行への拠出(総額)

		2014年9月末
保有している銀行株(時価総額)	(百万円)	—
劣後ローン等	(百万円)	—

⑩職員数

		2014年9月末			14年3月末	13年9月末
			14/3末比	13/9末比		
営業職員	(人)	—	—	—	—	—
内勤職員	(人)	228	0.4%増	2.2%増	227	223

※14/3末比、13/9末比は増減率であります。

⑪銀行窓販の状況

			2014年9月期		14年3月期	13年9月期
				13/9期比		
変額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—
定額年金保険	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※変額年金保険及び定額年金保険の販売は休止しております。

			2014年9月期		14年3月期	13年9月期
				13/9期比		
一時払終身	新契約件数	(件)	13,461	27.9%増	22,732	10,526
	金額(収入保険料)	(百万円)	135,433	25.6%増	228,822	107,855
一時払養老	新契約件数	(件)	—	—	—	—
	金額(収入保険料)	(百万円)	—	—	—	—

※銀行には信用金庫を含んでおります。

※13/9期比は増減率であります。

※金額の欄には、一時払保険料を記載しております。

※一時払養老保険の取り扱いはありません。

<全面解禁商品>			2014年9月期		14年3月期	13年9月期
				13/9期比		
平準払 収入保障保険	新契約件数	(件)	180	23.3%増	285	146
	金額(収入保険料)	(百万円)	9	29.3%増	15	7

※13/9期比は増減率であります。

※金額の欄には、1年分の保険料に相当する金額を記載しております。

## その他質問項目（2014年9月）

## ○変額年金保険等の最低保証に係る一般勘定の責任準備金 繰入・戻入の状況

		2014年9月期	14年3月期	13年9月期
変額年金保険等の最低保証に係る 一般勘定の責任準備金 繰入・戻入	(億円)	△ 63	△ 244	△ 149

※戻入額については△で表示しております。